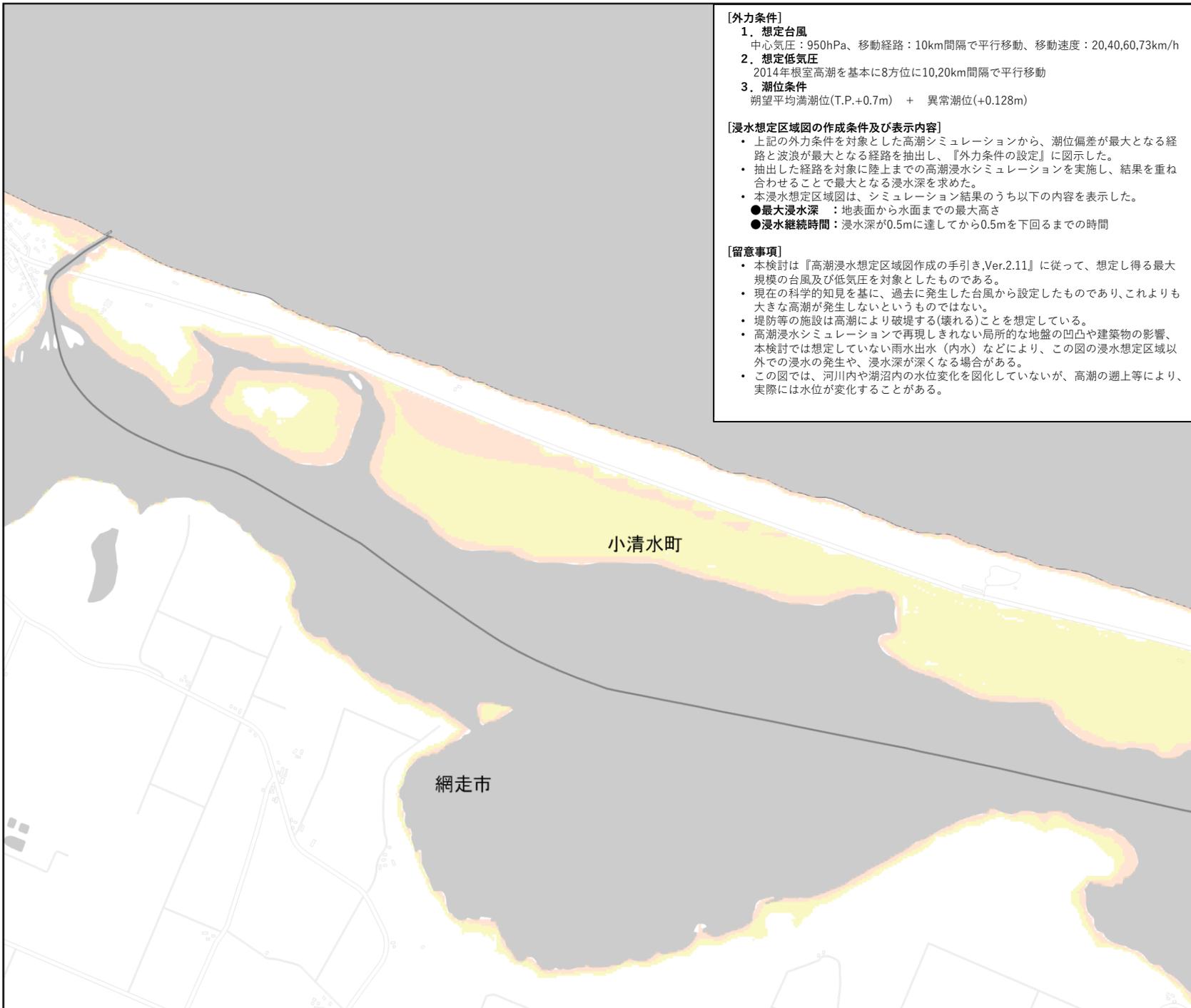


高潮浸水想定区域図（浸水深）【小清水町 1/4】



【外力条件】

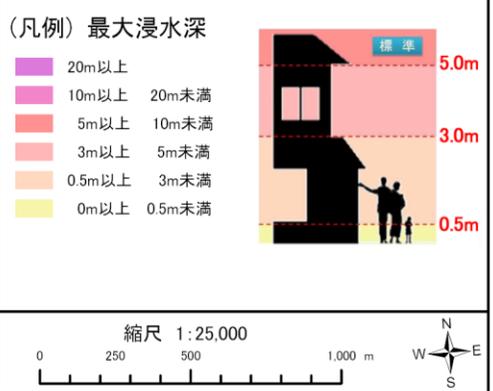
- 1. 想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**
朔望平均満潮位(T.P.+0.7m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】

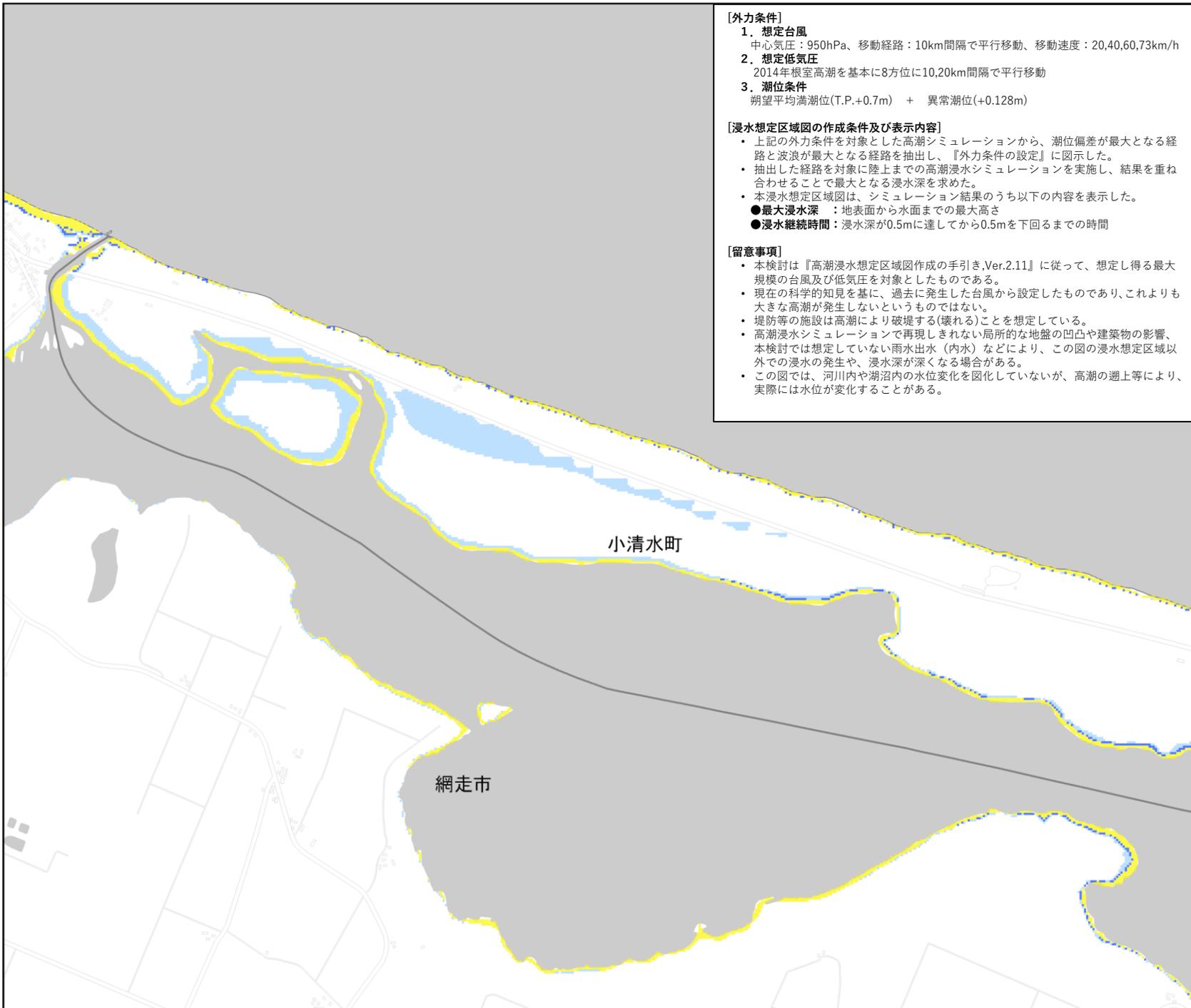
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

【留意事項】

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【小清水町 1/4】



【外力条件】

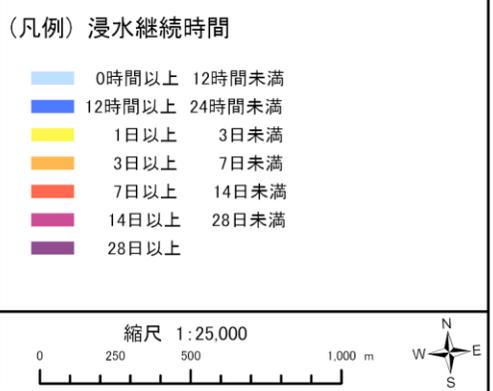
- 1. 想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**
朔望平均満潮位(T.P.+0.7m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】

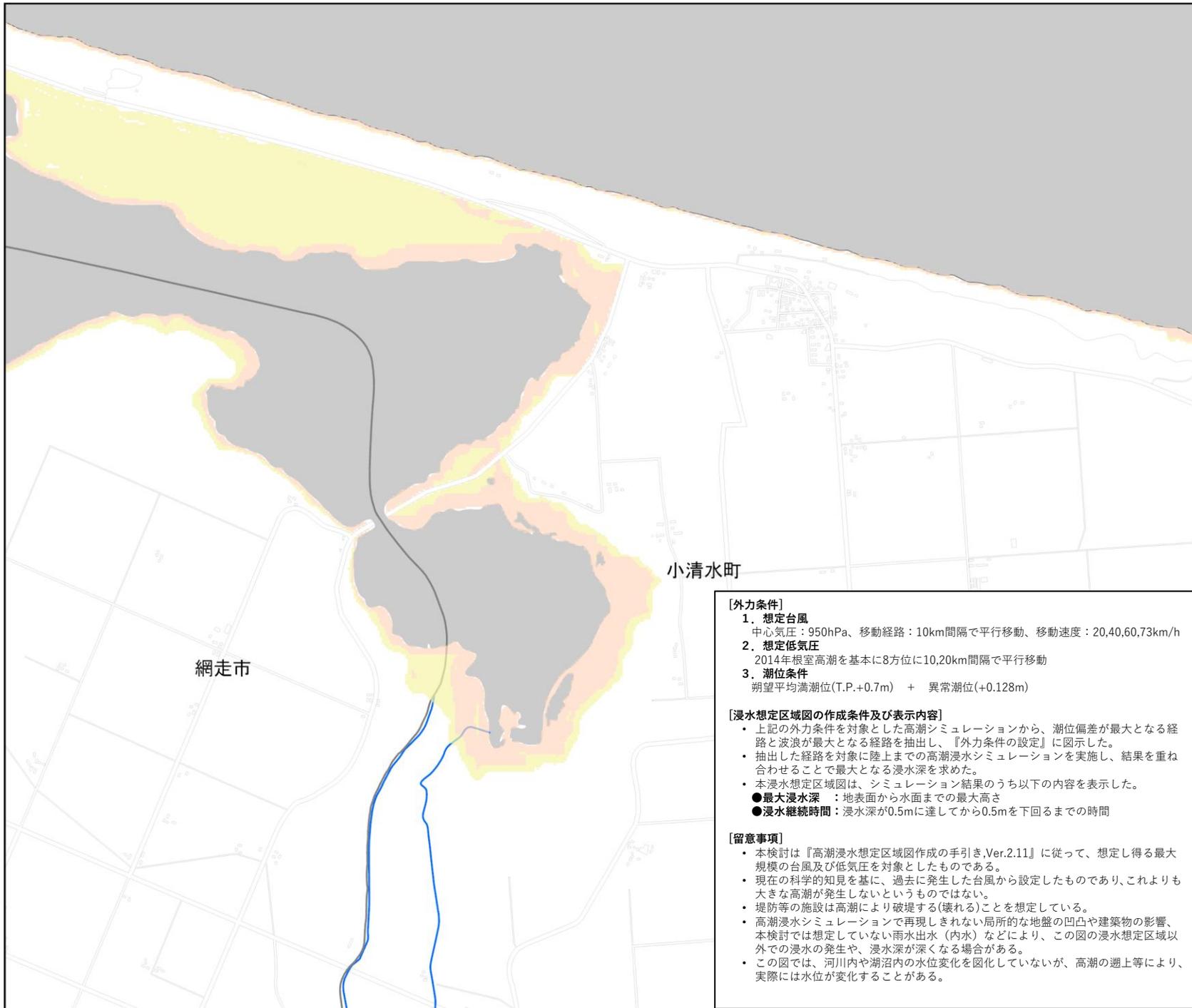
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

【留意事項】

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



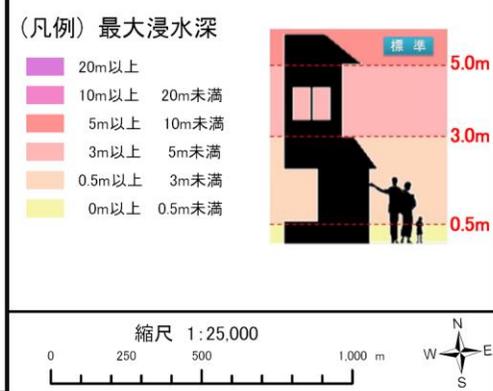
高潮浸水想定区域図（浸水深）【小清水町 2/ 4】



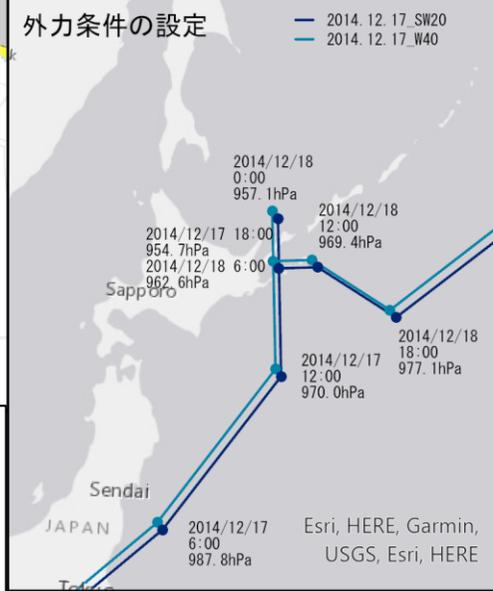
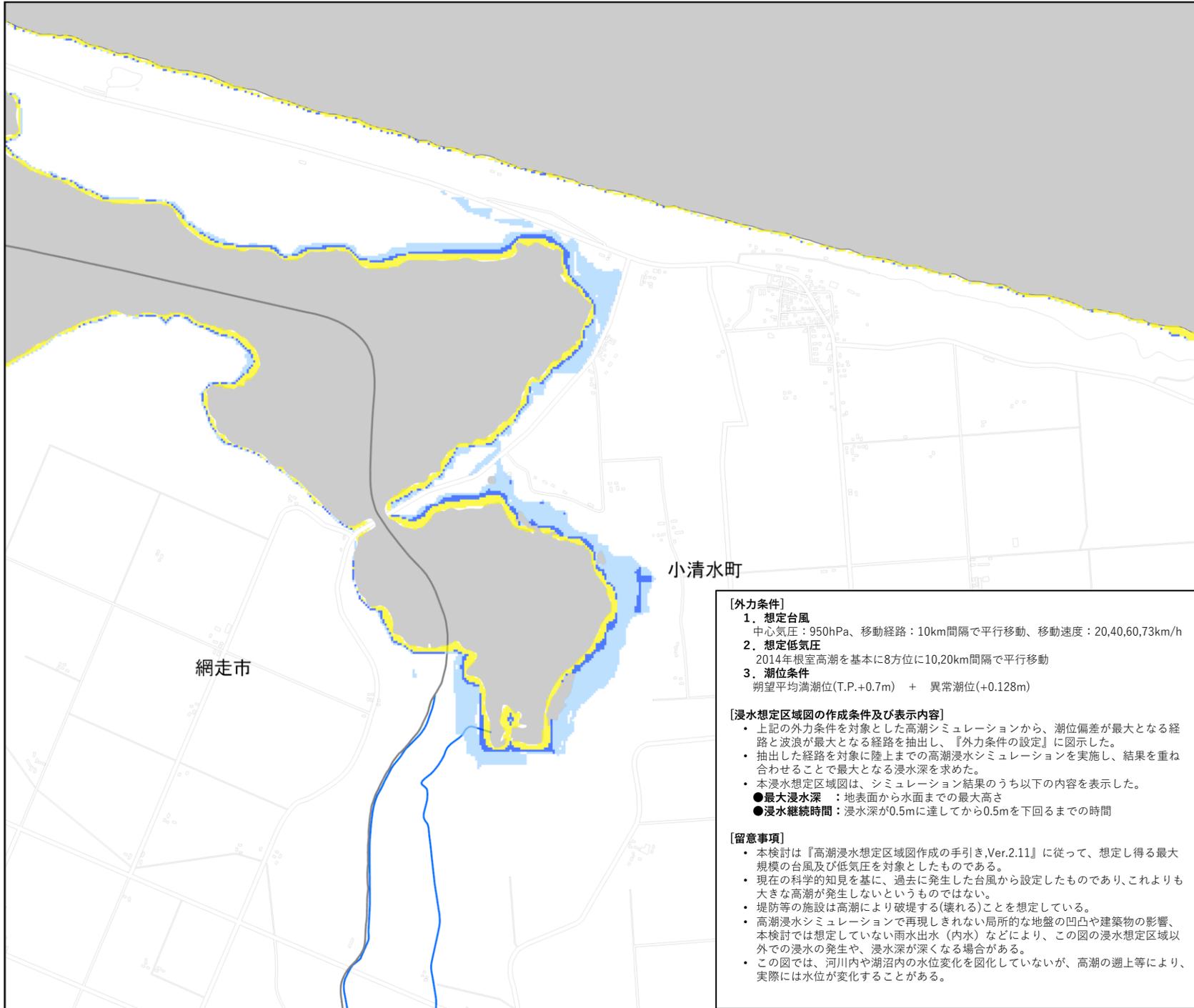
- [外力条件]**
- 想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
 - 想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動
 - 潮位条件**
朔望平均満潮位(T.P.+0.7m) + 異常潮位(+0.128m)

- [浸水想定区域図の作成条件及び表示内容]**
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
 - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
 - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - **最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - **浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

- [留意事項]**
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
 - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
 - 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
 - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
 - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



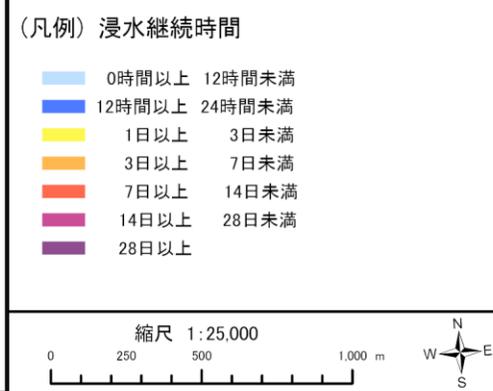
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【小清水町 2/ 4】



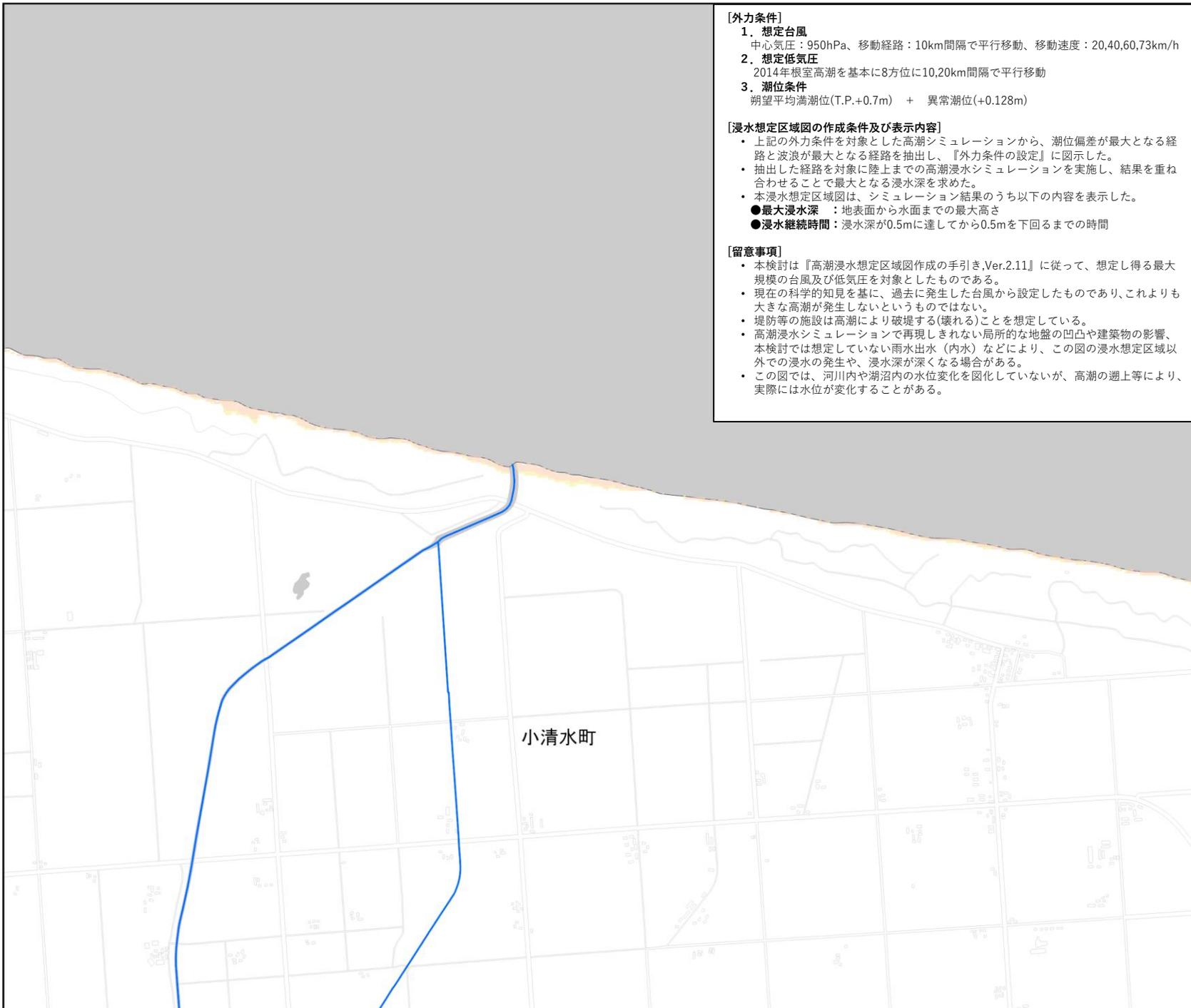
- [外力条件]**
- 想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
 - 想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動
 - 潮位条件**
朔望平均満潮位(T.P.+0.7m) + 異常潮位(+0.128m)

- [浸水想定区域図の作成条件及び表示内容]**
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
 - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
 - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

- [留意事項]**
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
 - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
 - 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
 - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
 - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



高潮浸水想定区域図（浸水深）【小清水町 3/ 4】



【外力条件】

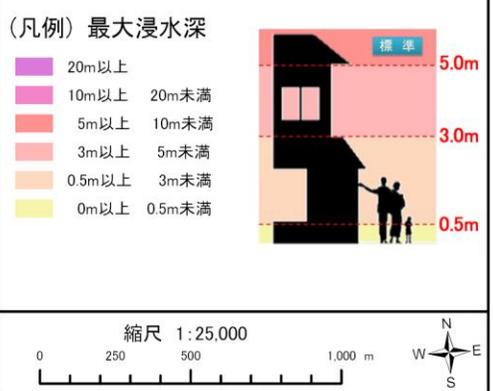
- 1. 想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**
朔望平均満潮位(T.P.+0.7m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】

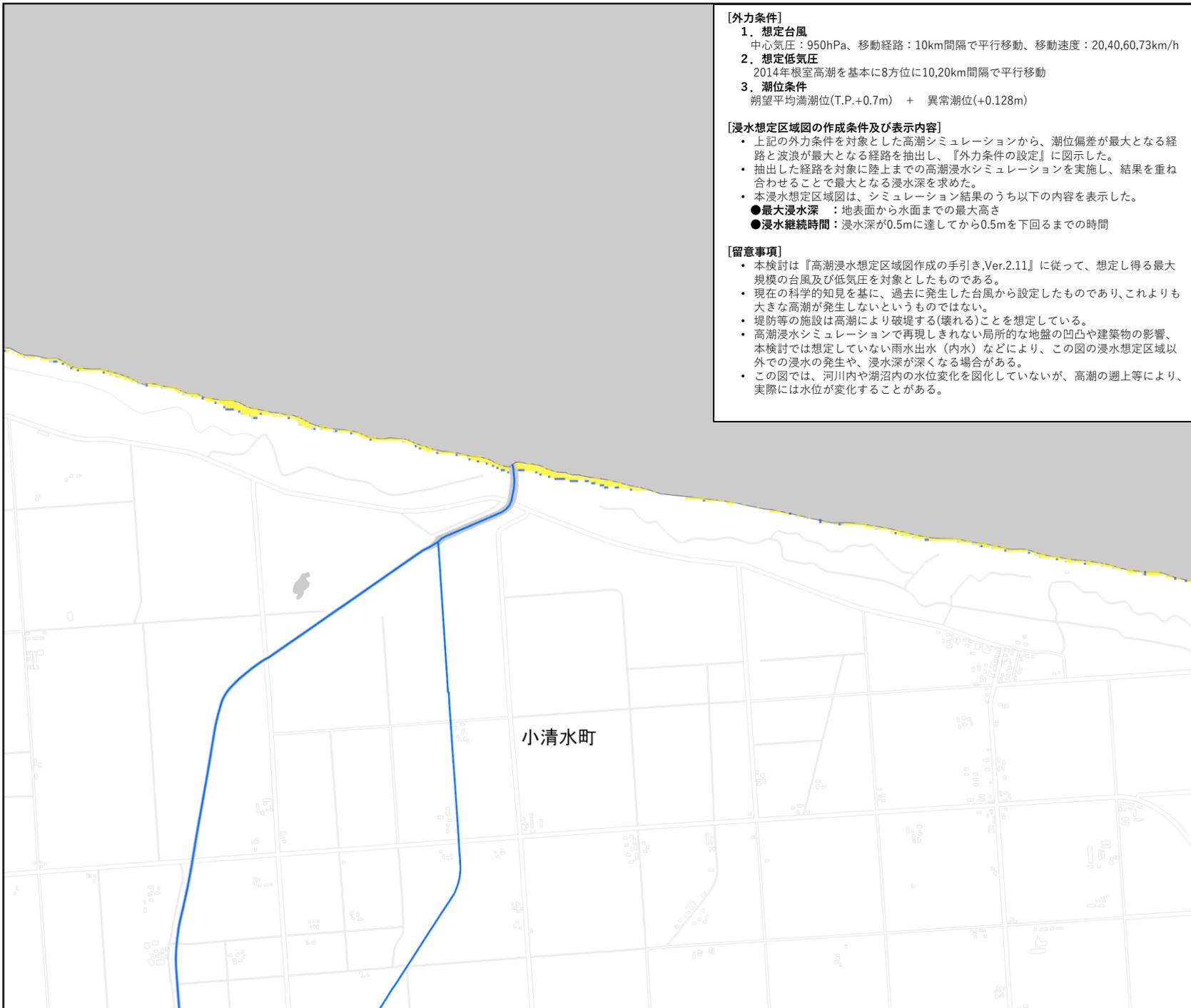
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

【留意事項】

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【小清水町 3/ 4】



【外力条件】

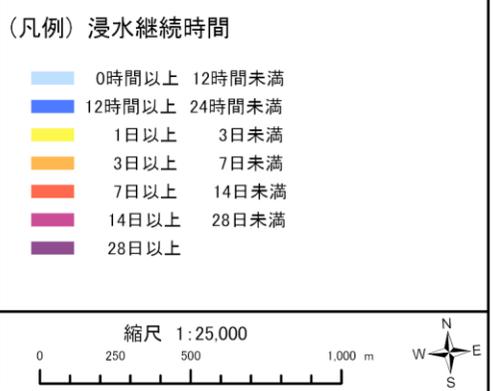
- 1. 想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
- 2. 想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動
- 3. 潮位条件**
朔望平均満潮位(T.P.+0.7m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件及び表示内容】

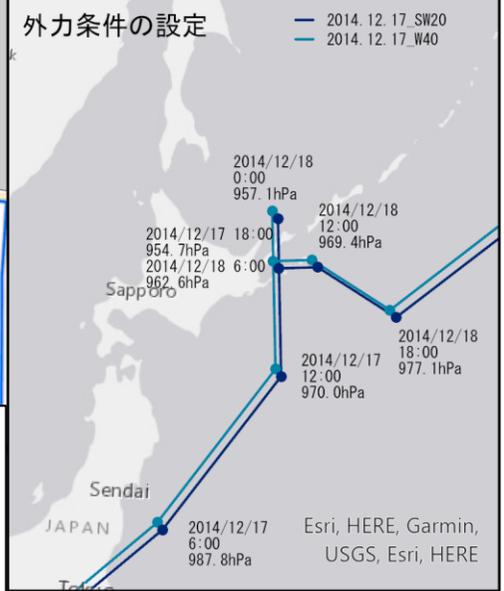
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

【留意事項】

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



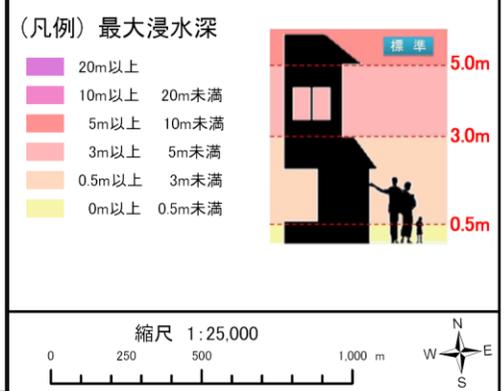
高潮浸水想定区域図（浸水深）【小清水町 4/ 4】



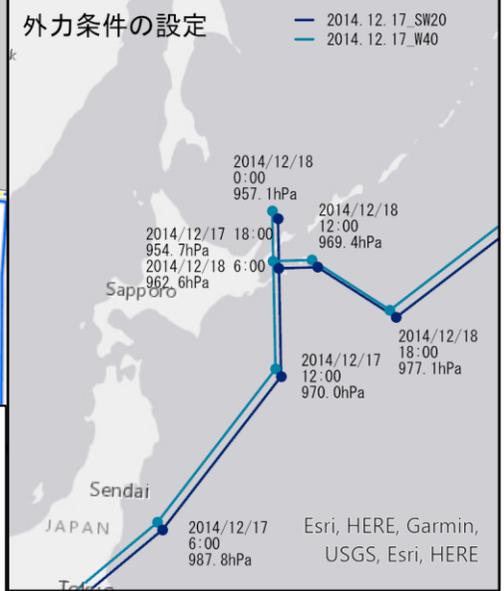
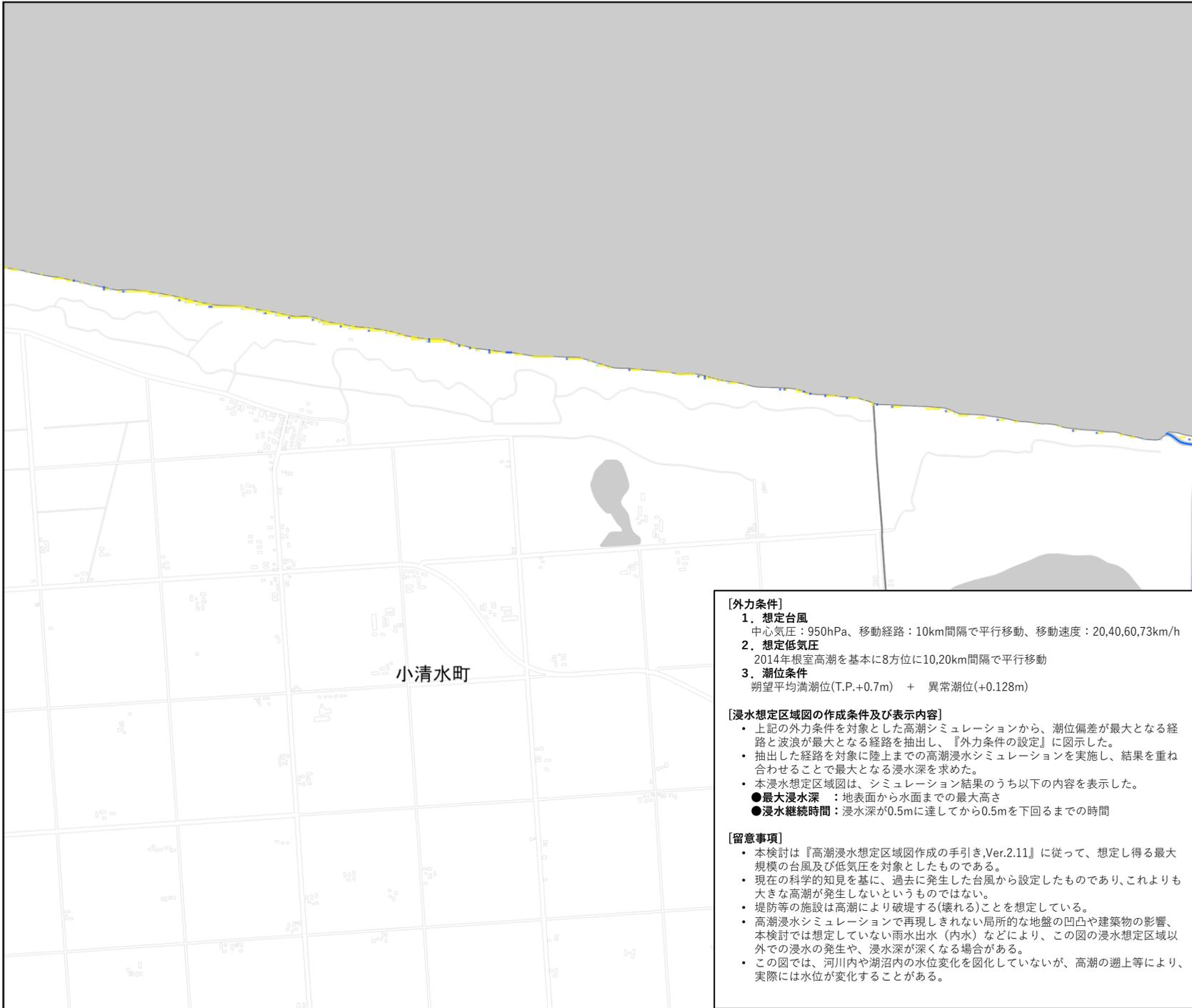
- [外力条件]**
- 想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
 - 想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動
 - 潮位条件**
朔望平均満潮位(T.P.+0.7m) + 異常潮位(+0.128m)

- [浸水想定区域図の作成条件及び表示内容]**
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
 - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
 - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

- [留意事項]**
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
 - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
 - 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
 - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
 - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間） 【小清水町 4/ 4】



- [外力条件]**
- 想定台風**
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20,40,60,73km/h
 - 想定低気圧**
2014年根室高潮を基本に8方位に10,20km間隔で平行移動
 - 潮位条件**
朔望平均満潮位(T.P.+0.7m) + 異常潮位(+0.128m)

- [浸水想定区域図の作成条件及び表示内容]**
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
 - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
 - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

- [留意事項]**
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
 - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
 - 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
 - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水（内水）などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
 - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

